

事務事業名		水道事業経営基盤向上事業		会計	水道事業		実施区分	
H28担当課等名		経営管理課		事業種別	経常	開始	23	終了
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり				
		施策	45	居住基盤の向上				
H28係等名		H28係等名		水道経理係		H27係等名		
						水道経理係		
目的	対象(誰・何を)	水道事業会計(簡易水道事業特別会計)		対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	適正な収益の確保、経費の削減により、安定した経営を継続する			営業収益(受託工事収益除く、単位:千円)	1572081		
	向上させたい上位施策の成果指標	営業収支比率 100%以上、経常損失比率 0%			営業費用(受託工事費用除く、単位:千円)	1710491		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	営業収支比率(%)		95	91.9	95	-	
	成果指標	経常収支比率(%)		107.6	107.4	110	-	
定性目標								
事業概要	<p>これからの水道事業(簡易水道事業含む)は、人口の減少に伴う収益の減少や既存施設の老朽化に伴う更新需要の高まりなどの環境を背景に、厳しい経営状況が予測されている。今後、適正な料金設定をはじめとし、創意工夫による収益確保策や経費削減策を進め、健全で良好な経営を継続していく。</p>							
事業内容				名称		活動指標		
27年度事業内容	1 水道事業長期整備計画の見直し			1 検討回数		1 3回		
	2 地方公営企業制度改正対応(決算対応)			2 研修等の受講		2 3回		
	3 簡易水道事業の法適化検討			3 検討回数		3 3回		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		2,408	0	0	500	H26決算 会計システム更新業務756 松川ダム水質検査1,652 特財:水道料金 H27:0予算 H28:企業会計システム改修		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他		2,408						
一般財源					500			
人件費計(千円)②		0		0				
正規職員所要時間								
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		2,408	0	0	500			
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>料金収入は年々減少傾向にあり、成果指標の一つである「営業収支比率」は低下してきている。今後は長期的な経営見直しをもって、成果指標の達成に取り組みたい。</p>							
改革改善の考え方	①問題点	<p>1. 人口減少等により料金収入は年々減少しているが、今後は老朽施設改修等の経費が増大していくため、厳しい経営状況になることが予想される。 2. 簡易水道の法適化(水道事業への統合)の要請に対する対応が必要な状況となっている。</p>						
	②改革提案	<p>1. 長期的な展望に立って事業を再編するとともに、適正な時期に適正な料金設定を行っていく。 2. 繰入基準等を財政当局と調整し、今年度中に統合時期を決定したい。</p>						